

合言葉は「良い歯は一生の宝物」
～歯科保健活動を通して～

保健室
森本孝子



1. はじめに

本校は平成30年度和歌山県学校歯科保健優良校に選ばれ、秋に表彰されました。『良い歯は一生の宝物』を合言葉に、ふぞくっ子の未来の健康のために、ご家庭のご協力を頂きながら、歯と口の健康管理と健康教育に取り組んでいます。その中で、今年度初めて6月の歯と口の健康週間中に取り組んだ全国小学生歯みがき大会参加に関して紹介します。

2. 全国小学生歯みがき大会参加

この歯みがき大会は、各校の歯科保健状況に関する子どもの実態や課題に応じてプログラムを組みかえられるDVDを視聴しながら、ブラッシングについて学びを進めていきます。

本校では、4年生時に学校歯科医と歯科衛生士をゲストティーチャーに、歯垢染め出しによるブラッシング指導を受けています。その既習経験を更に深めていきたいと考え、計画しました。

○対象児童：5年ABC組・56年F組児童

○めあて：歯と口の健康を守ることが、未来の健康につながることを理解し、子どもの頃から望ましい歯みがき習慣を身につけておくことができるようになる。

○歯肉の観察力アップ

⇒ 思春期前期から増加傾向にある歯肉炎予防に繋げる。

○歯みがきスキルアップ

⇒ 4年生時のブラッシングの学習を振り返りながら、歯みがきの基本やデンタルフロスの使い方を学習し、自分の歯や口に合ったみがき方をマスターする。

子どもの感想一部抜粋

歯肉炎チェックは、色・形・硬さ・出血を見ることが大切だと分かった。

デンタルフロスの使い方が分かったので、上手に使用して、歯垢を残さないようにしたい。



今日勉強したことを家族にも教えてあげたい。

歯肉炎は、正しい歯みがきをすれば治ることがわかった。

未来宣言カードを歯みがきをしながら見える所にはって、目標を達成できるようにがんばろうと思う。

3. おわりに

歯みがき大会後に取り組んだ歯みがきカレンダーで、一人の児童が「歯みがき大会で習ったみがき方を活用すると、とても歯がきれいになった。夏休みも1日3回の歯みがきを頑張りたい。」冬休みの感想には「歯みがき大会で学んだことを思い出しながらブラッシングしたり、歯肉をチェックしたりした。」と振り返っていた。今後も、一人一人の子どもが健康に着目し、意識して生活を見直し、意欲的に健康づくりに繋がる実践力を育める取り組みをしていきたいと考えています。